

令和6年度第8回 別府市公共交通活性化協議会 会議要旨

日 時	令和7年2月10日（月） 14:00～15:30
場 所	別府市役所 5階 大会議室
出席者 （委員）	阿部 万寿夫、東 欣哉、大賀 良久、 <u>荒巻 良考</u> 、望月 郁男、山口 巧、大平 順治、河野 龍児、久保山 久美子、稲積 京子、藤木 淳史、小島 仁、山田 和洋、谷川 征嗣、 <u>百田 鉄志</u> 、山内 佳久、谷原 一心、 <u>大井 尚司</u> 、田原 裕之、倉原 浩志、日置 伸夫、田辺 裕、安部 政信 ※委員23名中 出席20名（うち代理3名、リモート0名） 欠席3名
議 事	<p>（1）審議事項</p> <p>第1号議案 「湯けむりライドシェア 南部循環線」運行の変更について</p> <p>第2号議案 「湯けむりライドシェア 関の江循環線」運行の変更について</p> <p>第3号議案 「別府市コミュニティバス 内成棚田線」運行の変更について</p> <p>第4号議案 「湯けむりライドシェア 扇山循環線（仮）」今後の展開について</p> <p>第5号議案 インバウンド対策事業について</p> <p>（2）報告事項</p> <p>第6号議案 共助型ライドシェア（ボランティア輸送）の取組みの支援について</p> <p>第7号議案 書面決議の結果について</p>
<p>（1）審議事項</p> <p>■<u>第1号議案 「湯けむりライドシェア 南部循環線」運行の変更について</u></p> <p>事務局から変更に至る理由・経緯（地域住民へのアンケート調査結果及び意見交換会）を説明した後、主な変更内容（ルート、運行時間及び運賃）及び変更の時期について説明・提案。</p> <p>【審議結果】</p> <p>◎ 意見・質疑応答等は特になく、事務局案どおり変更することとなった。</p> <p>■<u>第2号議案 「湯けむりライドシェア 関の江循環線」運行の変更について</u></p> <p>事務局から変更に至る理由・経緯（現行ルート上での交通事故の懸念及び運転手の勤務労働条件の改善）を説明した後、主な変更内容（ルート、運行時間）及び変更の時期について説明・提案。</p> <p>【審議結果】</p> <p>◎ 意見・質疑応答等は特になく、事務局案どおり変更することとなった。</p> <p>■<u>第3号議案 「湯けむりライドシェア 内成棚田線」運行の変更について</u></p> <p>事務局から変更に至る理由・経緯（路線バスの廃止、観光地や病院への移動支援）を説明した後、主な変更内容（ルート、運行時間）及び変更の時期について説明・提案。</p> <p>（意見・質疑応答等については次のとおり。）</p> <p>➤ ルートを変更してラクテンチを加えた場合、いつも利用しているお客さんが利用できなくなるような事態は起きないか。</p> <p>☞ 内成棚田線は、1日の利用者が1～2人で往復3便あるので、そこまで利用者の移動を阻害するよ</p>	

うなことはないかと思う。

【審議結果】

◎ 事務局案どおり変更することとなった。

■第4号議案 「湯けむりライドシェア 扇山循環線（仮）」今後の展開について

昨年10月の公共交通活性化協議会で協議を開始している扇山循環線（仮）について、事務局から実証運行に向けた検討に至る理由・経緯（狭隘な道路、急な勾配が多い地域でのスーパーや医療機関への移動支援）を説明した後、概要（ルート）及び変更の時期について説明・提案。

（意見・質疑応答等については次のとおり。）

- 竹の内には県営住宅があり、町内で最も高齢者や独居の方が多地域なので、そこにもバス停を設置してもらえるとありがたい。
 - ☞ 今のご意見も踏まえ、自治会と協議しながら検討していきたい。
- 以前、ゴルフカートのような車両の話があったが、交通の妨げになると明確に反対した記憶があるが、今車両についてはどのようなものを想定しているのか。
 - ☞ 冬や夏に冷暖房も効かない中、時速19キロで走るのは現実的ではないこと、ドアもなくちょっと揺れると物が落ちてしまう可能性があることなどから、扇山循環線ではハイエースを使っていきたいと考えている。
- 扇山小学校の下を通るルートでトライアルに行ったお客さんがどうやって帰るのかというルートになっているので、再検討をお願いしたい。
 - ☞ ルートを住民の意向に沿いすぎると、事業者のエリアに影響してしまうことにもなりかねない。時間はかかるが、低料金で行きたい所に行ける形をとった方が共存共栄を図れるのではないかと思う。

【審議結果】

◎ 上記意見を踏まえ、引き続き自治会や事業者と協議を重ね、よりよいルートを模索していくこととなった。

■第5号議案 インバウンド対策事業について

事務局からインバウンドライドシェア事業の必要性（昨今の外国人観光客の増加、移動手段の供給不足）、概要（汎用性の高いアプリを活用したタクシーとの共同運営による公共ライドシェア）及び実証運行開始時期について提案。

- 市内のタクシー事業者で配車アプリを導入しているところは少ない。資料に配車アプリが提示されているが、様々な条件や手数料などのこともあり、ある程度の規模がないタクシー事業者は採算が取れないような設定になっているところが一番のネックだと思う。そのあたりも理解し支援等を検討願いたい。
 - ☞ 今後、配車アプリの会社とやり取りをしていくが、その情報も共有させていただきたいと思う。導入経費等についても、日本版ライドシェアの際と同様協議をさせていただきたいと考えている。
- 運送エリアに空港とあるのは、どういうことか。
 - ☞ 別府市から大分空港へ向かうことが考えられるので空港も含めて検討しているが、各事業者の経営への影響等も踏まえて、検討を進めていかなければいけないと考えている。
- ロープウェイや城島高原から歩いて帰っている外国人がおり、親切な日本人が乗せてくれたとか、最後

まで歩いたとか、そういうことを案内所でも確認している。そういった際に配車アプリがあればタクシーを呼べたのと思うので、配車アプリはタクシーの需要を減らすというわけではなくて、むしろ乗ってくれる方を増やすと私は思っている。ぜひ外国人が使いやすい配車アプリの導入をお願いしたい。

【審議結果】

- ◎ 上記意見を踏まえ、引き続き自治体や事業者と協議を重ね、次回の協議会で再度提案させていただくこととなった。

(2) 報告事項

□第6号議案 共助型ライドシェア（ボランティア輸送）の取組みの支援について

事務局から公助・日本版ライドシェアを補完する移動手段である共助型ライドシェアについて、その位置づけや制度の概要について報告。

- 謝礼金と文言で書かれると、任意と言いながらも払わなくてはいけないのかなと思ってしまう。なるべく謝礼金という言葉は利用される方の目にはつかないようにしてもらいたい。今回は違法ではないが、実質的に要求していることに近いようなことのないようにお願いしたい。だれか一人が始めたらあつという間に広まってしまうので、交通事業者への影響を考えながら慎重に検討していただきたい。

- ☞ 謝礼についてはきちんと指導するようにする。また、無制限にすることも考えていない。市としては金銭的な支援や運行のアドバイスが必要になるかと思うので、基準をもって交通事業者や運輸支局と相談しながら進めていきたい。

【報告結果】

- ◎ 上記意見を踏まえ、進捗状況を今後も共有していくこととなった。

□第7号議案 書面決議の結果について

事務局から令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の一時評価に係る書面決議の結果について報告。

【報告結果】

- ◎ 意見・質疑応答等は特になし。

□その他 国の本年度補正予算及び来年度予算案等について

国土交通省九州運輸局大分運輸支局から、予算案や公共交通シンポジウム等についての説明・紹介。